

2023年度 日本工学院専門学校											
情報処理科 システム開発コース											
ITリテラシー											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山本 純士			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
航空券予約発券システムを運営する会社で、主に開発部門ではシステム企画や、開発プロジェクトのマネジメントを行い、営業部門では大手旅行会社や国内外の航空会社に対するシステムセールスと営業部門の管理を行う。											
授業概要											
この科目では、コンピュータやインターネット、プログラミングなどの基礎的な知識や技術を学ぶことを目的としている。学生は実際に手を動かしながら学び、ITを活用するためのスキルを身につけることを目指す。理論的な解説と実践的な演習を組み合わせることで、効果的な学習を促すように構成されている。											
到達目標											
この科目を修了することで、コンピュータの基本的な操作や、Webサービスの利用方法が理解、セキュリティの基本的な知識を身につけることができる。また、スプレッドシートやスライドなどのソフトウェアを使い作成するスキルと、それらを活用して、自分のアイデアを表現することや、プロジェクトができるようになる。ITに関する基礎的な知識やスキルを習得し、今後の実習などに活かすことができる。											
授業方法											
ITリテラシーは、実際にコンピュータやインターネットを操作することが大切であり、学生が自分で操作することで実践的なスキルを身につけることを目的とする。また、課題を与え、解決するために必要なスキルや知識を学びとることで、必要な技術やツールを習得させる。ITリテラシーには、単独で操作するよりもチームでの作業が求められる場合があるため、授業でグループワークやディスカッションを取り入れている。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
本講義では、パソコン、配布した教材を忘れずに持参すること。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位として認定することができない。											
教科書教材											
授業資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ITリテラシーの概要 ITリテラシーの重要性や定義の解説、ITの基本的な用語や概念の理解										
第2回	パソコンの基本操作 キーボードの使い方、ファイルの作成や保存、コピー・貼り付けの方法の習得する										
第3回	ファイル管理の基本的な知識の習得 ファイルの整理、移動、削除などの基本的な操作、ファイル名やフォルダ名の命名規則を学ぶ										
第4回	Googleクラスルームの活用 Googleクラスルームの基本的な操作方法を学習する										
第5回	クラウドサービスの使い方 オンラインストレージやグループウェアの使い方、ファイルの共有やバックアップ方法を学習する										

2023年度 日本工学院専門学校	
情報処理科 システム開発コース	
ITリテラシー	
第6回	ソーシャルメディアの基本的な知識の理解 主要なSNSの概要や使い方、プライバシー設定やマナーを学習する
第7回	ハードウェアの基本的な知識 コンピュータやスマートフォン、タブレットなどの部品や機能、接続や設定を学習する
第8回	ワードプロセッサの基本的な使い方 文書の作成、編集、保存、印刷などの基本的な操作、文字の装飾や段落の設定を学習する
第9回	スプレッドシートの基本的な使い方 表の作成や編集、計算式の入力などの基本的な操作、グラフの作成や編集方法を学習する
第10回	プレゼンテーションの基本的な使い方 スライドの作成や編集、デザインや配色、画像の挿入方法を学習する
第11回	プログラミング基礎(1) プログラミング言語の概要、ローコード、ノーコードを使った簡単なプログラムの作成、実行方法を学習する
第12回	プログラミング基礎(2) プログラミング言語の概要、ローコード、ノーコードを使った簡単なプログラムの作成、実行方法を学習する
第13回	ワークグループ(1) 学んだ知識や技術を用いて、グループごとにプログラムなどの制作を行う
第14回	ワークグループ(1) 学んだ知識や技術を用いて、グループごとにプログラムなどの制作を行う
第15回	成果発表 グループごとに成果物を発表する。また、他者からのフィードバックや評価を受け、自己評価を行う